

令和7年度 いゆ しおさい 安全計画

・避難訓練は、避難及び消火訓練を毎月行わなければならない。（児童福祉施設の設備及び運営基準）
 ・消火訓練及び避難訓練を年2回以上実施すること。（消防法施行規則第三条第10項）
 ・消火訓練及び避難訓練を実施する場合には、あらかじめその旨を消防機関に通報しなければならない。（消防法施行規則第三条第11項）

子どもの生命の保持と健やかな生活の基本を保障し、自ら安全な生活を作り出す力を養う。

目標		子どもの生命の保持と健やかな生活の基本を保障し、自ら安全な生活を作り出す力を養う。													
ねらい		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		新しい生活	不審者	交通安全	夏の生活	不審者	交通安全	秋の生活	交通安全	不審者	冬の生活	交通安全	不審者		
生活安全	園内外での安全な生活の仕方を知る	園児訓練	・仲良く遊ぶ ・廊下、道路の歩き方や信号の見方を知る。 ・集団で歩くときの約束を知る。	・笛等の合図や支援者の指示で、支援者のところへ集合する。 ・園外保育時に、『まもる君の家』を確認する。	・雨の日の安全について知る。	・夜更かしをしない ・水遊び時の注意を知る。 ・気温が高い時は外遊びをしないことを知る。	・子どもや支援者が少ない時間や午睡時の避難の仕方を経験する。	・横断歩道の渡り方や信号の見方を知る。 ・集団で歩くときの約束を知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・危険なことから身を守る大切さを知る。	・交通安全教室に参加し、交通安全について学ぶ。	・笛等の合図や支援者の指示をよく聞き、あわてず避難する。	・規則正しい生活をする。 ・寒い日の歩き方を身につける。	・標識の意味を知り、守ろうとする。	・いつ、どこにいても支援者の指示に従ったり、身を守る行動を考えたりして敏速に避難する。	
		指導内容	・園児自身が事業所の生活における安全や危険を認識できるように指導する。 ・地域の関係機関と連携し、交通安全について学ぶ機会を設ける。 ・事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。												
		適宜実施	・場面ごと（園外保育等を含む）の複数での人数確認 ・保護者に安全計画の取り組みの説明・共有（入園時） ・人権擁護のためのセルフチェックリストにて関わり方に対する振り返り												
		毎月実施	・安全総点検にて施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策を講じる												
危機管理	支援者の対応力を身につける	支援者の訓練	重大事故 ・子どもの意識がなくなった時の対応 ・心肺蘇生の仕方 ・AEDの使用訓練	アレルギー ・アナフィラキシーショックを起こした時の対応	水の事故と熱中症 ・水でおぼれた時の対応 ・熱中症を発生した時の対応	感染症 ・嘔吐下痢の処理の仕方	異物混入 ・給食に異物が入っている時の対応	けいれん ・けいれんを起こした時の対応	重大事故 ・子どもの意識がなくなった時の対応 ・AEDの使用訓練	感染症 ・子どもの意識がなくなった時の対応	誤嚥 ・インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症が流行したときの対応	感染症 ・ノロウイルス発生時の対応 ■BCPに基づく実施訓練と、研修会の実施	アレルギー ・エビペンが必要となった時の対応	重大事故 ・子どもの意識がなくなった時の対応	
		管理・点検	・重大事故の対応時の役割分担表の作成・周知 ・睡眠チェック表の書き方の統一（年齢に応じた間隔にて実施） ・AEDのバットの使用期限の点検・使い方の周知 ・送迎・園外時、置き忘れ防止訓練	・マニュアルの読み合わせ ・緊急時の対応について確認 ・時系列の記録の重要性 ・アレルギー児の再確認	・水あそびをする時の注意事項及び事故発生時の対応の周知・徹底 ・輻射熱等による熱中症との対応方法の周知・徹底	・嘔吐下痢の確実な処理の仕方 ・徹底 ・感染拡大防止のための行動	・異物混入時対応マニュアルの内容確認と検討修正	・けいれん対応マニュアルの周知・徹底 ・けいれん発作のある子の再確認 ・坐薬等の確認	・心肺蘇生とAEDの使い方の周知 ・AEDのバットの使用期限の点検 ・送迎・園外時、置き忘れ防止訓練	・感染症が集団発生した時の対応方法の周知 ・保育室の感染予防対策の周知・徹底	・重大事故の対応マニュアルの確認 ・重大事故になった場合、国の報告書での研修	・食中毒発生時の対応の周知 ・事業所での対応の確認	・アナフィラキシーショックの対応マニュアルの確認 ・アレルギー児の再確認 ・預かりエビペンの確認	・役割分担表での動きの検討 ・AEDのバットの使用期限の確認・点検、使い方の確認徹底 ・送迎・園外時、置き忘れ防止訓練 ・一年間を振り返って、園内事故発生状況と安全措置に関する研修	
		指導内容	・災害や事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。												
		毎月実施	・安全確保に取り組むための研修や訓練の実施（全職員対象） ・年齢別事故防止チェックリストを使った安全確認 ・保護者に安全に係るルール・マナーを遵守することや家庭で安全を学ぶ機会を確保するよう依頼 ・備品等の安全点検												
非常災害	災害のことを知り命を守る行動をとる	園児（〇）・支援者（■）合同訓練	火災 ○避難（防災）訓練の意味、必要性、保育者など大人の指示に従う。 ○避難訓練の仕方 ・避難訓練の合図（サイレン・放送・緊急地震速報等） ○避難時に各個人カードを身につける。 ■人数確認する。	内水氾濫・火災 ○保育者の指示に従い、落ち着いて避難する。 ■慌てずに状況に応じた避難経路を想定する。 ■人数確認する。 ■事業所避難訓練（第2避難場所への避難郡中小学校） ・避難先での支援者間の情報共有・動きの確認	地震・火災 ○地震の時の避難の仕方 ・頭を守る ・机の下に潜り、脚を持つ。 ・避難の際は防災頭巾を被り、各個人カードを身につけ、靴を履く。 ■人数確認する。 ■事業所避難訓練（第2避難場所への避難郡中小学校） ・避難先での支援者間の情報共有・動きの確認	火災 ○非常ベルが鳴ったら保育者のところに集まり火災の発生場所から遠くに逃げる。 ■人数確認する。 ■事業所避難訓練（第2避難場所への避難郡中小学校） ・避難先での支援者間の情報共有・動きの確認	風水害 ○垂直避難することを知り、第2避難場所に避難する。 ■人数確認する。 ■事業所避難訓練（第2避難場所への避難郡中小学校） ・避難先での支援者間の情報共有・動きの確認	地震・火災 ○大地震が起きた時の避難の仕方 ・建物の倒壊の可能性を考えた避難経路 ・地震と火災の同時発生 ■人数確認する。	火災 ○引き渡し訓練にて、迎えに来た方が誰なのかを言える。 ■放送機能が不能の場合、どのように園全体に伝達するかを想定する。 ■連絡が取れない子どもへの対応 ■保護者連絡と引き渡し ■人数確認する。	風水害 ○ゲリラ豪雨・内水・外水氾濫・土砂災害などの自然災害の時の安全な避難の仕方を知る。 ■人数確認する。	地震・火災 ○シェイクアウトえひめに参加する。 ■普段と違うアナウンス放送に従い避難する。 ■人数確認する。 ■BCPに基づく避難の実施	火災 ○避難の仕方に慣れ、落ち着いて避難する。 ■煙の充満への対応確認 ・避難経路の確保 ■人数確認する。	火災 ○非常ベルが鳴ったら保育者のところに集まり、落ち着いて避難する。 ■人数確認する。 ■支援者により通報訓練	地震・火災・津波 ○大きな揺れが続いているときの自身の身の守り方。 ○大地震から火災・津波想定で、事業所は、第2避難場所まで避難する。 ■人数確認する。 ■年間を通してのまとめ、注意点の再確認。	
		指導内容	・災害や事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。												
		消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 検証訓練（年1回）	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 引き渡し訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 通報訓練（年1回）	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練
		・園舎点検 ・防災頭巾の数と使用方法の確認 ・消火器・警報機の確認 ・避難経路・防災設備の確認 ・災害時の役割分担	・緊急連絡簿確認 ・119番通報の仕方の確認 ・コノベルの送信受信確認 ・非常持ち出し袋の中身の確認・補充・入れ替え	・防災の備品の確認 ・備蓄食品の消費期限・数の確認・入れ替え・補充	・災害時の役割分担の確認 ・避難経路・防災設備の点検と確認 ・消防職員による指導・確認・施設内の点検	・内水氾濫・外水氾濫の実状把握 ・事業所の周りの危険な物の確認 ・避難にて事業所の情報の共有	・消火器・警報機の確認 ・警報機誤作動時の対応を確認 ・消火器の使い方	・災害後の情報収集の仕方 ・備蓄食品の確認 ・引き渡し訓練表の確認（緊急連絡先についても） ・引き渡し訓練後の問題検討 ・避難場所での動き	・内水氾濫、外水氾濫の実状把握 ・土砂災害の情報把握 ・園の周りに危険なものがないか確認	・物が散乱している場合の避難の仕方の検討 ・避難車が使えない場合の安全な避難の仕方について	・支援者の人数が少ない時の役割分担の確認	・消防職員による指導・確認 ・119番通報の仕方の確認	・大地震により保護者が迎えに来れない場合に、園で宿泊を伴う避難を想定して動きを確認 ・次年度の内容確認 ・コノベルの送信受信確認（年度末の整理）		